

2025年2月14日

株式会社 電通グループ

代表執行役 社長 グローバル CEO 五十嵐 博  
(東証プライム市場 証券コード：4324)

## 2024年度12月期連結決算（IFRS）および剰余金の配当に関するお知らせ

－日本の貢献で売上総利益は4年連続で上場来最高も海外事業で減損を計上－

株式会社電通グループ（本社：東京都港区、代表執行役 社長 グローバルCEO：五十嵐 博、資本金：746億981万円）は、本日開催の取締役会において、2024年度12月期連結累計期間（2024年1月1日～12月31日）の連結決算および2024年度の剰余金の配当について承認しました。

詳細は下記資料をご覧ください。

2024年12月期 決算短信〔IFRS〕（連結）

URL: <https://www.group.dentsu.com/jp/ir/data/pdf/tanshin2024.pdf>

2024年度12月期 投資家・アナリスト向け決算説明会プレゼンテーション

URL: <https://www.group.dentsu.com/jp/ir/data/pdf/2024EAPREJ.pdf>

2024年度通期の補足説明：

- 売上総利益

売上総利益は、連結のオーガニック成長率は、海外事業のマイナスを日本のプラス成長がほぼ相殺し、マイナス0.1%となりましたが、主に、プラスの為替影響と前年に買収した事業の連結効果により、前年同期比5.0%増の1兆2,016億円となり、4年連続で上場来最高となりました。地域別では、日本とEMEAがプラスのオーガニック成長となり、日本の売上総利益は4年連続で上場来最高となりました。米州は前年の第4四半期を底に四半期ごとに改善していますが、APACは引き続き厳しい事業環境にあります。

- 営業利益（損失）

主に事業からの利益である調整後営業利益は、日本、米州、EMEAの増益により7.8%増、127億円増の1,762億円となりましたが、第4四半期にEMEAおよび米州におけるのれんの減損損失2,101億円を計上したことにより、制度会計上では1,249億円の営業損失となりました。

- 親会社の所有者に帰属する当期利益（損失）

第4四半期における多額の減損損失の計上により、大幅な営業損失となったことに加えて、金融収益の減少や、法人所得税費用の増加等により、制度会計上の親会社の所有者に帰属する当期損失は、1,921億円となりました。

2025 年度（2025 年 1 月 1 日～12 月 31 日）の通期連結業績予想（IFRS 基準）：

2025 年度のオーガニック成長率は「約 1%」を目標としています。オペレーティング・マージンは、主に競争力回復に向けた内部投資支出により、2024 年度を下回る「約 12%」と予想しています。

制度会計上の営業利益、親会社の所有者に帰属する当期利益は、黒字化を見込みますが、経営基盤の再構築に向けた一時費用を計上するため、それぞれ 660 億円、100 億円の水準に留まると予想しています。

2025 年度は、利益面では厳しい業績を見込みますが、本日公表した中期経営計画の初年度であるこの年に経営基盤を再構築することで、同計画の 2027 年の目標を達成し、その後の持続的な成長を実現していきます。

(△は減少)

	2025 年度 業績予想 (A)	2024 年度 実績 (B)	増減額 (A-B)	増減率 (%)
収益 (百万円)	1,494,000	1,403,383	+90,617	+6.5
売上総利益 (百万円)	1,215,000	1,194,070	+20,930	+1.8
調整後営業利益* <sup>1</sup> (百万円)	146,000	176,233	△30,233	△17.2
オペレーティング・ マージン	12.0%	14.8%	△280 bps	
親会社の所有者に帰属する 調整後当期利益* <sup>2</sup> (百万円)	71,000	92,936	△21,936	△23.6
基本的 1 株当たり 調整後当期利益 (円)	273.53	355.24		
営業利益 (百万円)	66,000	△124,992	+190,992	-
親会社の所有者に帰属する 当期利益 (百万円)	10,000	△192,172	+202,172	-
基本的 1 株当たり 当期利益 (円)	38.53	△734.56		

為替

1USD	156.5 円	151.4 円	+5.0 円	+3.3
1GBP	193.3 円	193.5 円	△0.2 円	△0.1

注：※1～※2 は、次頁を参照。

為替換算レートは、2025 年度業績予想は 2025 年 1 月平均、2024 年度実績は 2024 年 1-12 月平均。

剰余金の配当：

2024 年度 配当

	2024 年度（今回発表）			2024 年度（2024 年 8 月開示予想）		
	中間配当	期末配当	年間	中間配当	期末配当	年間
1 株当たり配当金	69.75 円	69.75 円	139.5 円	69.75 円	69.75 円	139.50 円
配当性向*	39.3%			36.5%		

（ご参考）2023 年度実績：中間配当 78.50 円、期末配当 61.00 円、年間 139.50 円。配当性向 35.0%。

※今回発表の 2024 年度配当実績と 8 月開示予想は、基本的 1 株当たり調整後当期利益と 1 株当たり年間配当金で算出。

2025 年度 配当予想

	2025 年度			2024 年度		
	中間配当 （予想）	期末配当 （予想）	年間 （予想）	中間配当	期末配当	年間
1 株当たり配当金	69.75 円	69.75 円	139.5 円	69.75 円	69.75 円	139.5 円
配当性向*	51.0%			39.3%		

※2024 年度の配当実績は、基本的 1 株当たり調整後当期利益と 1 株当たり年間配当金で算出。2025 年度の配当予想は、基本的 1 株当たり調整後当期利益と 1 株当たり年間配当金で算出。

2024 年度の 1 株あたり配当金は、2024 年 8 月に公表した予想の通り、139.5 円としました。2025 年度については、収益力回復への過渡期であるため、厳しい業績を予想していますが、安定的配当を重視し、1 株当たり年間配当金を 2024 年度と同額の 139.5 円と予想します。なお、今後も「配当性向 35%（基本的 1 株当たり調整後当期利益ベース）」の方針を維持します。

- ※1. 「調整後営業利益」は、営業利益から、『買収行為に関連する損益』および『一時的要因』を排除した、恒常的な事業の業績を測る利益指標。『買収行為に関連する損益』：買収に伴う無形資産の償却費、M&A に伴う費用、完全子会社化に伴い発行した株式報酬費用。『一時的要因』：構造改革費用、減損、固定資産の売却損益など。
- ※2. 「親会社の所有者に帰属する調整後当期利益」は、当期利益（親会社所有者帰属分）から、営業利益に係る調整項目、条件付対価に係る公正価値変動額（アーンアウト債務再評価損益）・株式買取債務に係る再測定額（買収関連プットオプション再評価損益）、これらに係る税金相当・非支配持分損益相当などを排除した、親会社所有者に帰属する恒常的な損益を測る指標。

以上

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通グループ グループコーポレートコミュニケーションオフィス 小嶋、沢田、杉浦

Email : [group-cc@dentsu-group.com](mailto:group-cc@dentsu-group.com)